

カリスマ美容皮膚科医の生活が知りたい!

中野あおい先生のセレブな1日に密着。

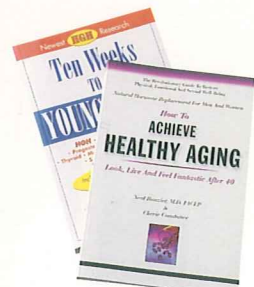
各界セレブのかりつけ医であり、本誌でもおなじみの中野あおい先生が、どんな毎日を送っているのか、初公開してくれました。



中野あおい先生
●あおいクリニック院長
金沢医科大学卒業。金沢医科大学病院で、内分泌内科、循環器内科を専門とし、老化に関する研究に携わる。その後、美容皮膚科、美容内科診療に携わり、2003年12月にクリニックを開業。

美容皮膚科医は24時間仕事。常に勉強し美しさも保っています。

おじいさまが内科医、お父さまが外科医と、代々医者の家系に生まれ、自然な流れで医者になったという中野あおい先生。20代は、大学病院で内科医として、診療と研究に明け暮れていた。「命の現場ですからね。自分の肌をケアする時間なんてほとんどなくて。そのころの顔はツツツ、ガサガサでした」そんなとき1冊の本と出会った。それがちに美容皮膚科医になるきっかけに、「ナチュラルホルモン補充療法」という若々しく年を重ねること



↑美容皮膚科医を目指すきっかけとなった、アンチエイジングがテーマの「ナチュラルホルモン補充療法」ほか。

*あおい先生の1日

朝食

朝は甘いものやパンなど、すぐに栄養になるものを。



パンと紅茶が定番。パンはヒマワリの種入りベーグルとチーズスコーン。金沢のフランス料理店「恵は瑠(ケイゼル)」を営むいとこの手作りだ。紅茶は、お気に入りのマリアージュフレール。

出勤

タクシーの中で今日1日の施術をシミュレーション。



通勤はタクシーで。乗車している20分間、心を鎮めて瞑想しているそう。「施術のシミュレーションをすることが多いですね。車の中で仕事モードにスイッチを切り替えます。



↑好きな色は、ピンク。今日は、フォクシーのツイードジャケット。←左・バック、財布や小物入れは、エルメスで統一。右・マノロが好きで、所有する靴は約100足。今日はシャネルのパンパス。

診療

常に最新の医療情報を学習し、活かしてます。

「先生はいつも私の肌を覚えてくれると患者さんにいわれます」。それは、肌診断のあと施術のほとんどを先生自ら行っているから。自分の肌にはファンデーションを塗らない。「治療で肌状態が改善されることを知ってもらいたいです」。じっくり診察するため患者は1日30人ほど。



↑アメリカの学会誌や海外で行われる研修のプログラムにも目を通す。こちらはモナコのアンチエイジングセミナーのパンフレット。←最先端の美容医療情報や流行は、アメリカの雑誌「allure」で。

*あおい先生の休日



ランチ
少しの時間だけど、おいしいものを優雅に。

時間がなく健康食品ですませることもあるけれど、「レディタンザ・トトキ」(03-5568-3511)でランチを楽しむことも。今日の献立は、真鯛のマリネと有機トマトのサラダセザール風。



ミーティング スタッフと翌日の患者の打ち合わせ。

午後、夜の診療が終わるとスタッフと打ち合わせ。「翌日の施術の手配はもちろん、お掃除のチェックも」。細かな気配りは、美容皮膚科にとってとても大切なこと。



帰宅

お疲れさまでした。これから食事に出かけます。

夜は医療関係者やマスコミの人たちとの会食が多いという先生。肌にいいものをチョイスしているかと思えば、「いえいえ、体の欲するものを食べています。それが肌にも体にも一番いいんですよ」。



芸術に触れると五感が冴えて、キレイの循環を作ります。

忙しい日々の合間をゆって、歌舞伎やバレエ、オペラへも定期的に行く。そんなときは普段と違うおしゃれをして。今日着ているのは、お母さまから譲り受けた小紋の着物。「学会と日程が合い、海老蔵襲名公演をバリーで観劇したこともあります」。

あおい先生のキレイのヒミツ

コスメも栄養補助食品も、こだわりの逸品。

→春夏はコバルト、秋冬はグラニトを愛用。ロングウェア ジェル アイライナー(コバルト、グラニト)各2940円、ウルトラファイン アイライナー プラシ3150円(ポビイ ブラウン03-5251-3485)。



←ローヤルゼリーがたっぷり入った国産最高級リンゴ酢。「お風呂上がりにはベリエで割って飲んでいます。クエン酸が疲れを取ります。はちみつりんご酢720ml 1万8900円(見佳屋0120-78-3448)。



↑クリニックでも販売している、シワ対策クリーム。「顔はもちろん、ハンドクリーム代わりに手にも塗っています」。ダーマ・リンクル・クリーム30ml 1万4700円(ジェイメック03-5688-1803)。